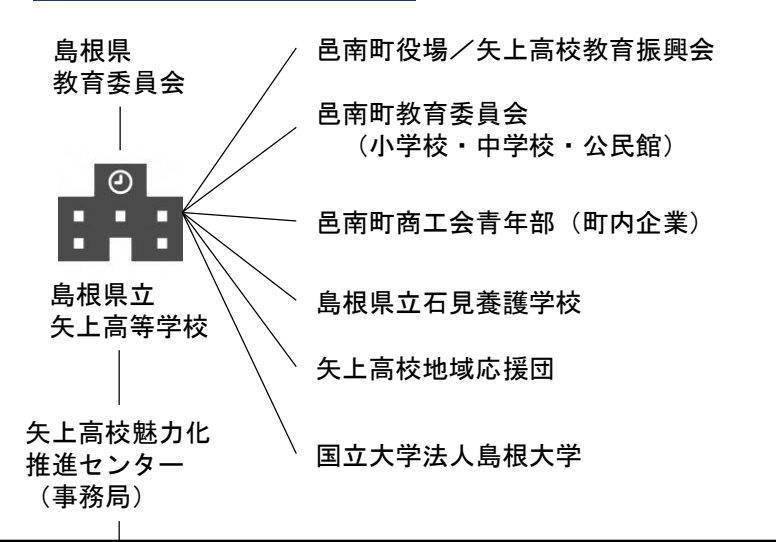


おおなん協育プロジェクト ～邑南町総がかり！ 協働で育む“協育”カリキュラムの開発～

<コンソーシアムの構成>



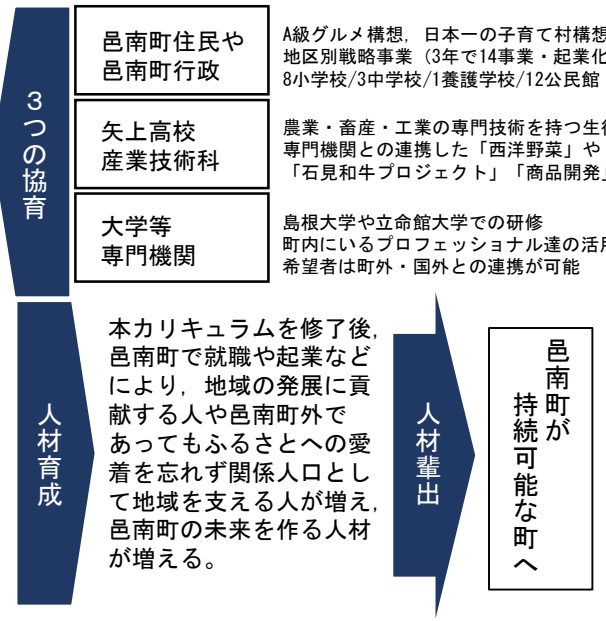
研究開発の目標および研究概要

「ふるさとを思い、地域の未来をつくる人」の育成

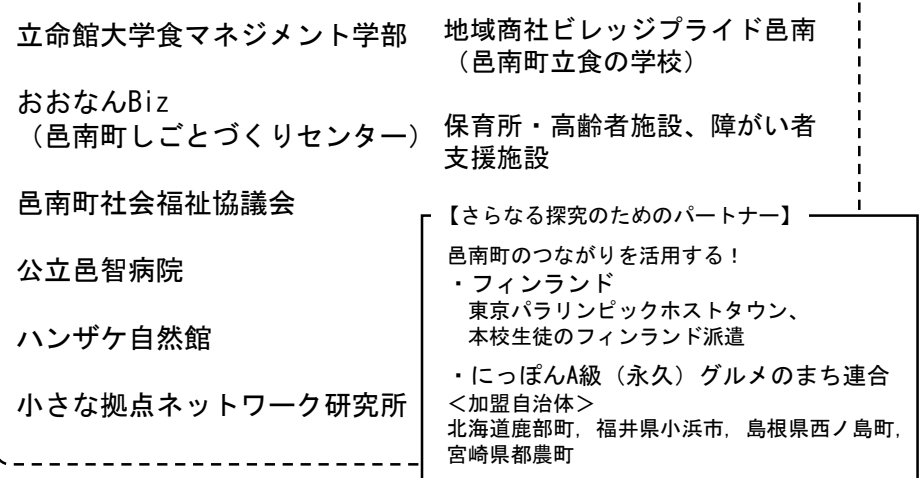
【資質能力】
 ◇目標達成や課題解決の基盤となる学力や技能
 ◇地域の魅力や課題を発見し、目標達成や課題解決方法を探究する力
 ◇主体的かつ他者と協働する力

【研究概要】
 地域に飛び込み、地域住民と関わる中で課題を見つけ、多様な人々と協働し、教科や地域の歴史や文化といった様々な知恵を結集させ、課題解決を実践するカリキュラムを開発し、地域人材を育成・輩出する。

- 総合的な探究の時間の再構築、教科横断カリキュラム整備
学校設定教科「起業探究」の設置を行う
- 様々な人々（協育パートナー）や教科と連携し、生徒が課題を設定し、地域課題の解決を実践する

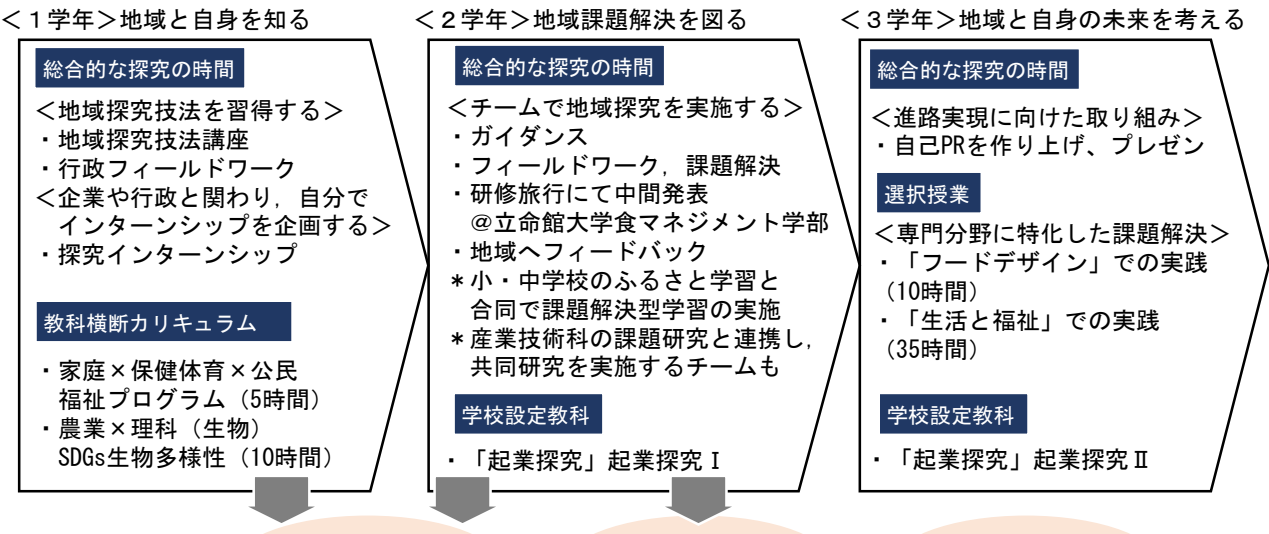


<協育パートナーの構成>



令和2年度時点での学校全体の生徒数

| 学科 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 合計 |
|-------|-----|-----|-----|----|------|
| 普通科 | 60名 | 42名 | 58名 | 0名 | 160名 |
| 産業技術科 | 33名 | 27名 | 26名 | 0名 | 86名 |
| 合計 | 93名 | 69名 | 84名 | 0名 | 246名 |



研究の成果発表・普及

普通科 地域探究学習発表会

普通科・産業技術科 未来フォーラム

おおなんドリーム 学びのつどい

小中高養の発表の場。12年間の学びの集大成で、1チームのみ発表する。

本事業終了後は、対象を普通科だけでなく、産業技術科へも拡大させ、普通科・産業技術科共通カリキュラムを作る

令和元年度時点での事業対象学科の生徒数

| 学科 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 計 |
|-----|-----|-----|-----|----|------|
| 普通科 | 60名 | 42名 | 58名 | 0名 | 160名 |

地域との協働による高等学校教育改革推進事業 研究開発の概要
(令和2年度 新規指定校)

| | | | | | | | | |
|-----------|---|--------------------|----|----|-----|---|--|--|
| 指定期間 | ふりがな | しまねけんりつつかみこうとうがっこう | | | | | | |
| 令和2～最大3年間 | ①学校名 | 島根県立矢上高等学校 | | | | ②所在都道府県 | 島根県 | |
| ③対象学科名 | ④対象とする生徒数 | | | | | ⑤学校全体の規模 | | |
| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 計 | 普通科：2クラス*3学年(160名) 産業技術科：1クラス*3学年(86名) 教職員：38名(ALT、コーディネーター等含む) | | |
| 普通科 | 60 | 42 | 58 | | 160 | | | |
| ⑥研究開発構想名 | おおなん協育プロジェクト ～邑南町総がかり！協働で育む“協育”カリキュラムの開発～ | | | | | | | |
| ⑦研究開発の概要 | <p>本校普通科において、地域人材を育成するためには、地域に飛び込み、地域住民と関わる中で課題を見つけ、多様な人々と協働し、教科や地域の歴史や文化といった様々な知恵を結集させ、課題解決を実践するカリキュラムを作ることが重要である。「邑南町住民や行政」「本校産業技術科」「大学等専門機関」との協働による教育（協育と呼ぶ）を図り、普通科の生徒が自ら問いを立て、本校独自の地域探究ができるようにする。これら3つの協育による教材を、総合的な探究の時間の再構築や教科横断の取組、学校設定教科の取組として作成し、検証・普及させることで、邑南町及び本校独自の地域課題解決型学習モデルを築き、邑南町総がかりで地域人材の育成を図る。</p> | | | | | | | |
| ⑧研究開発の内容等 | ⑧-1全体 | (1) 目的・目標 | | | | | <p>本校のある邑南町は、中国山地の山間にある約1万人の町である。高齢化率は43%を超え、2040年消滅可能性都市に挙げられている。本校は邑南町唯一の高校として、これまでも地域を支える多くの人材を育成してきたが、町の人口減や高齢化が進む中で、地域を支えるだけでなく、地域の未来を担う人材の育成がさらに求められている。そこで、邑南町民・行政、本校産業技術科・大学等専門機関と協働し、総合的な探究の時間の再構築、教科横断型プログラムや学校設定教科の設置など、地域と生徒が協働で課題解決できるよう普通科のカリキュラムを整備し、地域の未来を担う人材を輩出することを本構想の目的とする。</p> | |
| | | (2) 現状の分析と研究開発の仮説 | | | | | <p>「邑南町住民や行政」「本校産業技術科」「大学等専門機関」との協育をポリシーとして、Ⅰ：普通科の総合的な探究の時間の再構築、Ⅱ：教科横断カリキュラムの整備、Ⅲ：普通科の就職・専門学校進学希望者に、起業ノウハウや三方よしを学ぶ学校設定教科「起業探究」の設置を行う。そのことで、①教科と地域課題のつながりを考え、主体的に物事に取り組む姿勢を身に付ける②生徒自身の進路と地域課題解決が統合された進路決定ができる、という地域人材に求められる資質能力の育成ができるのではないかと考える。その結果、地域の方や他校種との協働により、児童・生徒の学びを通じた地方創生、校種間を超えた教員同士のつながり、学校教育と社会教育の融合を実現できると考える。</p> | |

| | |
|---|--|
| <p style="text-align: center;">⑧- 2 具 体 的 内 容</p> | <p>(1) 地域との協働による探究的な学びを実現する学習の実施計画</p> <p>【総合的な探究の時間】 コンソーシアムの商工会青年部や地域の自治組織と連携した課題解決や小・中学校のふるさと学習と合同で課題解決を実践する。</p> <p>【教科横断】 石見養護学校や福祉施設、病院と連携し、「医療・福祉」を「家庭・保健体育・公民」で学び、税の作文や模擬選挙で表現する。「農業・生物」は産業技術科との TT やハンザケ自然館と連携し生物多様性や気候変動を学ぶ。</p> <p>【学校設定教科・選択授業】 「起業探究」は、おおなん Biz と連携し付加価値創造を学び、課題解決学習へ活かすほか、「フードデザイン」で、邑南町施策「A 級グルメ構想」を学び、高校生レストランなどを企画する。</p> <p>(2) カリキュラム・マネジメントの推進体制 カリキュラム開発等専門家は、学識経験者としてカリキュラム開発への助言や検証を担う。魅力化センターで立案したカリキュラム案や計画について助言し、月に一度オンライン等で進捗管理、年度末にはカリキュラムの検証を行う。また、教員対象の研修会、研究授業後の研究会の開催やシンポジウムの講演などを通じ、本事業の意義を校内や地域へ普及させる。地域協働学習実施支援員は魅力化センターの一員に位置付けられ、総合的な探究の時間や教科横断カリキュラム、学校設定教科における外部との調整や教材作成、地域人材の発掘を行う。</p> <p>(3) 必要となる教育課程の特例等 学校設定教科・科目を設定：「起業探究」</p> |
| <p>⑨その他 特記事項</p> | |

※ 2 頁以内（研究開発の実施体制の頁は含まない。）とすること。

【研究開発の実施体制】

管理機関名：島根県教育委員会

1. コンソーシアムの構成

| 機関名 | 機関の代表者氏名 |
|---------------|----------|
| 邑南町／矢上高校教育振興会 | 町長 石橋良治 |
| 邑南町教育委員会 | 教育長 土居達也 |
| 邑南町商工会 青年部 | 部長 濱章一郎 |
| 島根県教育委員会 | 教育長 新田英夫 |
| 島根県立矢上高等学校 | 校長 志波英樹 |
| 島根県立石見養護学校 | 校長 佐々木千尋 |
| 矢上高校地域応援団 | 委員長 河緒正信 |
| 国立大学法人島根大学 | 学長 服部泰直 |

2. カリキュラム開発等専門家、海外交流アドバイザー、地域協働学習実施支援員の体制

| 区分 | 氏名 | 所属 | 備考 |
|--------------|------|----------------------|----|
| カリキュラム開発等専門家 | 作野広和 | 島根大学教育学部 | ② |
| 地域協働学習実施支援員 | 小林圭介 | 一般社団法人地域商社ビレッジプライド邑南 | ① |
| 地域協働学習実施支援員 | 山本翼 | 地域おこし協力隊 | ① |
| 地域協働学習実施支援員 | 河緒正信 | 矢上高校地域応援団 | ③ |

※「備考」欄には、本事業における活用の形態別に①～③のいずれかの番号を記入すること。

①常勤：本事業のために管理機関又は指定校に配置され、管理機関又は指定校で常時勤務する者

②非常勤：本事業のために管理機関又は指定校に配置され、管理機関又は指定校では常時勤務するものでない者

③ボランティア：本事業のために活用されるが、管理機関又は指定校から賃金・謝金等の支払がされない者（①又は②に該当する者を除く。）

3. 運営指導委員会の体制

| 所属 | 役職 | 氏名 |
|---------------|--------------|-------|
| 邑南町 | 副町長 | 日高輝和 |
| 島根県教育委員会 | 企画幹 | 馬庭寿美代 |
| 邑南町商工会 | 経営指導員 | 市川里恵 |
| 独立行政法人教職員支援機構 | つくば中央研修センター長 | 清國祐二 |

4. 経費

| 区分 | 金額（千円） | 備考 |
|----------|----------|-------------|
| 委託費 | 3,143 千円 | 3,143,893 円 |
| 管理機関よる負担 | 0 千円 | |
| その他 | 0 千円 | |

※「その他」の欄を記入した場合には、備考欄に「寄付金」等内容を記入すること。

5. 本研究開発実施のための自財源確保の工夫（※該当する場合は、回答欄に○印を記入すること）

| 区分 | 回答 |
|--------------------------------|----|
| 本研究開発実施のために、企業版ふるさと納税制度を活用している | |
| 本研究開発実施のために、ふるさと納材制度を活用している | |